

教科名	保健体育	科目名	保健	学年	2年	単位数	1
準教科書	現代高等保健体育 大修館書店		副教材				

1 担当者からのメッセージ

高校の保健は、今後の人生を豊かに過ごすうえで欠かせない科目になっています。平均寿命が延びてきている中で、健康に過ごすことができる時間も長くするには何をすべきで、何をしてはならないのか。また、人生をよりよく生きるためにはどのようにすればいいのか。知識を得るだけではなく、日常生活に落とし込んでいきましょう。

2 学習の到達目標

・保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。

3 学習計画

		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期 中間	・生涯を通じる健康 ア. 生涯の各段階における健康 イ. 労働と健康	・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを学ぶ。 ・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要性を説明できる。
	前期 期末	・健康を支える環境づくり ア. 環境と健康 イ. 食品と健康 ウ. 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関	・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあることを理解する。 ・食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であることを学ぶ。 ・生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要である理由を説明できる。
後期	後期 中間	エ. 様々な保健活動や社会的対策	・我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて理解できる。
	学年 末	オ. 健康に関する環境づくりと社会参加	・一人一人が健康に関心をもち、健康を支える適切な環境づくりに積極的に参加していくことが必要であり、そのことが自分を含めた世界の人々の健康の保持増進につながることについて説明できる。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じた他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

5 評価方法

計35時間（50分授業）

保健は、前期末・学年末の2回考査を行います。健康の保持増進に関する知識を確認するだけではなく、授業の中で“よりよく生きたい”という想いをもって取り組むこと、合理的・計画的に思考し実践することが大切です。また単元の中でワークシートやグループディスカッションを実施し、目標に対する到達度を確認します。
知識・技能…50% 思考・判断・表現…20% 主体的に学習に取り組む態度…30%